

議 長 日程第3「町長の行政報告」に入ります。

町長の行政報告に入ります。

町 長 皆さん、おはようございます。非常に暑い感じがするきょうこのごろですけれども、議員各位の皆さん方におかれましては、ますますの御健勝のことと、心からお喜びを申し上げます。

初めに、このたび西日本の豪雨において甚大な被害に見舞われた皆様方に対してお見舞いを申し上げる次第でございます。松田町におきましても、水害や土砂災害に対応するため、ロールプレイング方式の図上訓練等々を実施しているところでもございますけれども、今後このようなことも起きる、また過去のさまざまな教訓を生かしながらですね、災害対応をしていきたいと。また、自主防災会との連携強化を図ってまいりたいというふうに考えております。

さて、去る7月17日に平成30年第4回松田町議会臨時会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては公私にわたり多用なところ、多数の御出席をいただき、ここに本臨時会が開催されますことを、まずもって御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

それでは、議会に先立ちまして、貴重なお時間を拝借いたしまして、日を追って行政運営の一端を御報告させていただきます。

まず、6月議会の会期中ではありましたが、6月の5日、6日に第8回松田ちよい呑みフェスティバルが開催され、町内の23店舗の参加をいただき、地域間交流といたしまして大和市南林間の商店街からの応援もあり、過去最高の売り上げが上がったというふうに伺っております。町内商店街のにぎわいはもちろんのこと、松田町のPRを担っていただいていることに改めて感謝を申し上げます。次回につきましては、第9回目の開催ということで、10月の2日、3日に予定をされておりますので、その際におきましても議員の皆さん方も回っていただければというふうに思います。

次に、来年度は町制施行の110周年という記念となる年であることから、現在YHV事業と連携をしまして、町内産のお米で記念酒をつくるという事業を進めております。そこで、6月5日に寄地区の水田におきまして、寄小学校の生徒を中心に、授業の一環といたしまして、地元の若手農家さんの指導のもと、

田植えを行いました。子供たちは教科書から学ぶことができない体験をしていただき、10月上旬ごろに予定しております刈り取りを心待ちにしておるという状況でございます。また、来年の2月以降にはオール松田産のお酒が完成し、110周年の記念酒として販売を行う予定としております。このプロジェクトにおきましては、地元の酒造会社さんや地域の方々、また町内外の皆さん方に本当に多くの方に御協力をいただいております。このような事業を皮切りに、110周年記念に向けてさまざまな事業を展開してまいります。

次に、開成町のあじさい祭と連携をして開催をさせていただきました松田ハーブフェスティバルでございますが、6月9日から17日までの9日間で、昨年同様の約3,000人の方々の御来場をいただきました。ことしは天候にも恵まれ、松田町からのすばらしい景色とラベンダーなどの花を多くの方々に楽しんでいただいたと聞いております。ハーブガーデンにつきましては、本年度から町が直営というふうになりました。今後集客を図るために、さまざまな事業を展開すべく、計画立案を今進めているところでございますので、実施の際には皆さん方の御来場を賜りたく存じます。

続きまして、新しい総合計画の策定に向けて6月の14日に平成30年度第1回目の総合計画審議会を開催いたしました。この総合計画の基本的な方針や考え方については、計画の必要性や認知度を高めていく取り組みや行動していくための情報収集感度を高め、町民、議会の皆様方、行政が同じ主体となって目標を達成することが重要だというふうに考えております。そのためには、3者が共通してその意識を持って持続可能な開発目標、いわゆるSDGsの17の目標、ターゲットを念頭に組みたいというふうに考えております。今まで取り組んできたさまざまな事業を17の目標に振り分け、さらにその目標に当てはまる169のゴールに向かって、計画に反映させていくように取り組んでまいります。この事業が縦横クロスにして機能的につながる計画としていくためには、まずは町民アンケートをとらせていただいた調査結果をもとに、道先案内人としての役目として、町職員、我々が知識と本気度を向上させた上で、町の将来像の目標案を作成をするということにしております。取り組みの姿勢といたしましては、結果にとにかくこだわり、期限内に約束を果たすことや、オール松田を

チーム松田で積極的に行動し、協働・連携協力での情報交換や情報共有を行い、目標達成意識を持った仲間をふやしてまいりたいというふうを考えております。今後、審議会を通じて議論を重ね、町民や議員の皆様方に御提示してまいりますので、その節にはよろしくお願いを申し上げます。

次に、6月18日には「最新の農業が分かる・専門家とつながる」と題しまして、次世代農業セミナーが松田町民文化センターで開催されました。次世代の農業従事者や新規就農希望者、その他農業関係者約90名が参加され、鳥獣対策の取り組みや農業の事業継承の必要性とポイント等について、さまざまな分野で活躍されている方々からの基調講演が行われ、まことに僭越でございますが、私もその一人として松田町における課題や取り組みなどについて講演をさせていただきました。松田町においても、農業の高齢化や担い手の減少等厳しい営農環境に対して、活力のある農業振興を図るために、今後は次世代農業を経済から見たエネルギーの取り組みや農家の継承のポイントについて、官民連携により安定した収入確保や若い農業者の担い手の増加、農地の保全・確保に取り組んでまいります。

続きまして、6月18日に発生いたしました大阪府北部の震度6弱を観測した地震により倒れたブロック塀の下敷きになるなどして5名の方々がお亡くなりになったことを厳粛に受けとめ、町では6月25日から29日まで、町教育委員会、自治会等と連携をいたしまして、まずは小・中学校の通学路や町道・県道・国道などの交通量の多い道路に面したブロックの目視による劣化状態の調査を行いました。今後、通学路や災害時の避難経路などの安全性を再認識するための基礎資料とし、その改善対策について検討を行い、町民の防災意識の高揚を努めるとともに、周知・実行に向けて地域防災計画にも盛り込み、対応してまいります。

次に、6月23日から30日まで、関東町村会主催の海外行政視察に神奈川県14町村の首長の代表として、オランダとベルギーに日本や基礎自治体が抱える課題解決のために、まずは世界を感じ、広い視野で行財政運営を行うための行政視察に行ってまいりました。主に子育て支援や高齢化対策、障害者福祉施策などの取り組みについて視察を行ってまいりました。日本のほうが配慮や技術的

なことについては先を行っているように感じましたが、日本の取り組みとしては何となく目の前の課題解決のために、何かビジネスをしているような感じが非常にしました。国家の取り組みとしては、欧州のほうが非常に洗練されているように感じた次第でございます。両国については、歴史的な背景からか、国民全体を巻き込んで同じ方向に向かって行財政運営を行っているように思えまして、日本と欧州、歴史や文化の違いによる奥の深さのようなものをさまざまなところで感じてまいりました。この視察で感じ、学んださまざまなことを、松田町に組み込むような内容として置きかえながら、計画実践に向けて取り組んでまいります。全ての町民の皆さん方に町や町民のさまざまな活動や取り組みに愛情と興味を持っていただき、オール松田で松田町の今後の未来をつくってまいりたいというふうに考えております。

また、7月12、13日におきましては、足柄上郡町村会主催の県外視察において、北海道の千歳市、恵庭市、砂川市に伺ってまいりました。千歳市では、防災に関する知識や災害が発生したときの行動を学ぶことができる施設として、千歳市防災学習交流センターを見学し、災害に備えることの必要性和自助・共助の重要性を再認識してまいりました。また、恵庭市では、生涯学習・子供の体験学習の取り組みについて、恵庭市の教育施策に関する取り組みと現状と今後の方向性について意見交換をしてまいりました。協働のまちづくりの取り組みとして、具体的な策のヒントとなるようなことを多数いただきましたので、今後松田町としても取り組んでまいりたいというふうに考えております。最後に、砂川市による砂川地区保健衛生組合が設置しておりました「砂川クリーンプラザくるくる」において、資源ごみリサイクル施設、可燃ごみ運搬中継施設などの一体化した施設の運営状況等について視察をしてまいりました。現在、足柄上地区におきましても、広域施設整備を進めていくということの計画がありますので、その上での参考となりました。今回の視察におきましても、現地から学んだことを松田町にも取り組んでまいりたいというふうに考えております。

次に、7月4日に優先予約が開始となり、10日から販売されております「松田わくわくお買い物券」についてでございます。報告としてはほぼ、ほとんど

完売したというふう聞いております。これが子育て支援や福祉の向上、つきましては商工振興による町の活性化の一助になればというふうに思っております。

7月21日、22日、あす、あさってとなりますが、松田地区・寄地区におきまして狩猟のハンター育成をするための「まつだハンター塾」を開催いたします。町では有害鳥獣駆除等に伴う狩猟免許取得者の高齢化などが進み、人材不足が有害鳥獣被害の拡大の原因の一つとなっております。こうした中から、このハンター塾では免許取得に意欲がある方、免許があるものの長期間活動されてない方々などを対象として、狩猟免許の取得について学ぶ講習会や現場の体験会などを行い、若い世代や女性のハンターなどの新しい人材の育成に取り組み、鳥獣被害駆除対策について積極的に進めていくことで、山と里地、里山の保全並びに営農意欲の向上などにつながるよう取り組んでまいります。ちなみに、募集をかけた定員は大幅に超えて、約50名の方が募集をかけられたんですけども、定員が約25名ということでしたので、また次回につながるようなことだというふうに考えております。

それでは、本日の臨時会に付議いたしましたものは、専決処分の承認を求めることについて並びに一般会計補正予算（第3号）が案件となっております。以上が提案させていただく概要でございますが、議事の進行に伴い、私を初め副町長、各担当課長等より御説明を申し上げますので、よろしく御審議の上、御議決賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、この7月1日付で人事異動を発令し、幹部職員に異動がありましたので、紹介をさせていただきます。総務課長であった小田隆君を総務課長兼安全防災担当室長に異動させたところでございます。幹部を初め職員につきましては、時代に即した町政運営を取り組んでいくために、今後も本気で松田町を思い行動する、町民の願いをかなえるためにも、安心して生活できる住環境を整えるため、ふるさと松田の郷土愛、シビックプライドを向上させながら、協働・連携協力のまちづくりを進めていきますので、議員の皆さん方の各位におかれましても、これからも御指導、御鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます、以上が私からの行政報告とさせていただきます。きょうはよろ

しくお願いいたします。

議

長 町長の行政報告を終わります。